

下都賀教育事務所

ふれあい学習情報紙

栃木市神田町6-6
下都賀教育事務所
ふれあい学習課
0282-23-3422
E-Mail
shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



「県民カレッジ」防災学習講座



4月21日(日)サンブラザ(栃木市)において、「県民カレッジ」防災学習講座(下都賀地区)を開催しました。この講座は、防災に関する学習機会を提供し、防災についての意識を高め、学んだ成果を地域活動のきっかけにさせていただくものとして開催しています。

今回は群馬大学大学院、片田敏孝教授をお招きし、「防災教育を通じて考える地域づくり」という演題での講話でした。参加者の皆さんから「釜石の防災教育が実際の津波発生時にどれだけ生かされたかよくわかった。『避難三原則』を強調した防災教育を心がけたい。」「栃木県は災害が比較的少ないために、意識の低さを痛感させられた。地域・学校・行政が一体になり、自分の命は自分で守れる人間を育成することは大切だと思った。」等の感想をいただきました。今回の学びを、それぞれのお立場で生かしていただきたいと思います。



「思春期版家庭教育支援プログラム」って何?

思春期の子どもを持つ保護者を対象とした家庭教育支援の充実を図るためのプログラムです。進路や友人関係等に悩む思春期の子どもとの向き合い方や保護者の方々の日常の不安や悩みの軽減、ネットワークづくりにも役立ちます。保護者同士が話し合いや交流をとおして主体的に学ぶ参加型学習プログラムです。

【プログラム内容】

- ★我が子は思春期真っ只中!
～思春期の子育ては戸惑いや悩みの連続です～
- ★子どもに条件をつけて接していませんか?
- ★あなたならどうしますか
～家庭における性教育～
- ★我が子の進路とどう向き合っていますか?

深めよう、地域の絆

★小山市の取組 「いじめゼロ子どもサミット」

5月28日(火)、小山市立文化センター小ホールにおいて、「いじめゼロ子どもサミット」を開催しました。前半は、「おやまっ子いじめゼロ宣言」の作成に向けて、「心」「行動」「願い」の3つの視点から小学生と中学生が協力しながら話し合いを行いました。後半は、宣言の発表と採択を行いました。「相手のことを考え、困っていたり、悩んでいた人を見過ごしません。」など、5つの宣言文が採択されました。今後はこの宣言を市内38校に発信し、各校で『いじめゼロ』に向けて児童生徒主体の活動を展開していく予定です。



参加者からは、「この宣言が採択されたことが、『いじめゼロ』に向けての第一歩」「大人も一緒にいじめについて考えていきたい。」等の声が多数寄せられ、子どもだけでなく、大人にとっても有意義なサミットになったと思います。

★とちぎ市民活動センター「くらら」の取組

とちぎ市民活動センター「くらら」では、6月4日(火)利用者協議会主催研修会で、栃木市の各地域を回りました。最初に、藤岡地域へ行きました。地元の方から渡良瀬遊水地の話を聞きながら、谷中村役場跡や延命寺跡を歩いてみると感慨深いものがありました。都賀地域は「ほたるの里」大柿コミュニティセンターを地元の方に案内していただきました。以前小学校だったところに、入浴施設・調理室が備わり、多くの市民に利用されているのは嬉しいことです。大平・西方地域でも地元の方のお話から、地域を思う熱い気持ちが伝わってきました。合併して市民活動のフィールドも広域になりました。これからは、市民が積極的に地域間の交流を行い、市民が「合併してよかった。」と実感できることを期待したいと思います。



キラリ★ふれあいの輪(下野市)



石橋地区子ども会育成会 連絡協議会 (石子連)

石子連は、下野市石橋地区の子どもたちの健全育成を目的に設立され、今年で46周年を迎えました。地域に根差した行事がいくつもあり、特徴的なものとしては、市内各地区の子どもたちがキャンプを通して交流を深める「リーダー研修会」、全国的にも珍しい中学生対象の子ども会行事である「中学生ソフトバレーボール大会」などがあります。



また、子どもの頃に石子連の行事に参加していた方々が今は親となって、その子どもたちが同じように行事に参加しているという話も聞き、伝統が受け継がれていると感じます。昨年度は石子連のこれまでの取組が評価され、社会教育分野の優良団体として県の表彰も受けました。今後も下野市の子どもたちの健全育成のため、さらなる活躍が期待されます。